

中級教科書の語彙・文型

川 口 義 一

1. 中級教科書各種の語彙・文型調査

1-1 調査の目的と対象

本稿は、筆者が行った、日本語中級教科書各種の語彙・文型調査の結果の一部を紹介し、調査で採取した用例に基づいて、中級教科書の語彙・文型提出上の問題点を指摘するものである。

この調査は、早稲田大学語学教育研究所の「外国学生用日本語教科書中級」の改訂版作成の参考とするため、および同研究所の日本語教育研究会において、中級レベルの教授法を検討する際の資料に供するために行ったものである。中級段階の指導法や教材作成について考えるときに、常に問題になるのが、どのような語彙や文型をどのように組み合わせ、どのように提出し練習させていくべきか、ということである。学習されるべき項目について一般的にはほぼ一致をみている初級教材と違い、中級教材では「何が教えられるべきか」について統一された見解が生まれていないのが現状である。そこで、「何が教えられるべきか」を考察する前に、「何が教えられているか」の実態を調べてみて、中級の学習項目研究の目安にしようというのが今回の調査の動機である。

調査の対象とした教科書は、次の6種類である。

○東京外国語大学付属日本語学校・「日本語 II」・1979 1st ed. (以下 TG と略す)

○早稲田大学語学教育研究所・「日本語読本 中級」・1979 1st ed. (WK と略す)

- 東海大学留学生教育センター・「日本語中級 I」・1979 1st ed. (TK と略す)
- ランゲージサービス・“Intensive Course In Japanese”・1980 1st ed. (ICJ と略す)
- アメリカ・カナダ十一大学連合日本研究センター・“Integratde Spoken Japanese”・1979 2nd ed. <1976 1st ed.> (ISJ と略す)
- アメリカ国務省日本語研修所・「中級日本語」・<発行年不明> (FSI と略す)

このうち、TG・WK・TK は本文の大半が他の文献からの引用で構成されているのに対し、ICJ・ISJ・FSI は本文が書きおろしのものである。課の数は、TG：22 課、WK：28 課、TK：15 課、ICJ：15 課、ISJ：12 課、FSI：12 課である。

なお、TG は改訂版を作成中であるが、本調査の対象は旧版の本文である。このため、本稿では TG の調査結果を扱わないことにする。

1-2 調査の方法

次に調査の方法であるが、各教科書の本文 (ICJ では各課の会話を、ISJ では参考例文・応用会話を、FSI ではドリルを含む) から中級の語彙・文型としてふさわしいものに印をつけ、それをカードに取るという方法である。取るべき語彙・文型は一定の意味的・文法的特徴に従ってあらかじめ分類基準を作っておき、その分類別に異なる印が付けられるようにしておく。本調査のための分類基準とそれに対応する具体的な語や句の例、および分類を示す印の関係を表すと、次のようになる。

- ——① 文末表現 / 呼応表現：イカニ～カ・カモシレナイ・ザルヲエナイ・タラドウカ・パ～ホド・ワケハナイ
- ——② 慣用表現：顔ヲスル・感ジガスル・気ガスル・結果ヲマネク・実感ガ

- ワク
- ⊗—— 句間接続詞 : ウチニ・ガ・カラ・ケド・シ・
タラ・デモ・ト・リヤ (=レ
バ)
- △—— 文間接続詞 : アルイハ・ガ・シカシ・ソシ
テ・ソレダケデナク・ジャ・
トコロガ・ハジメニ・ヨウス
ルニ
- ——//—— 動詞=テ+動詞 : ナツテキタ・デテイキ・サシ
ムケテキタ・オコシ(サエ)シ
テイル
- ——\—— 動詞=マス+動詞 : ムツミアウ・ウツシダス・サ
シムケテキタ・フミツブシテ
イル
- ○—— 副詞・副詞的成分 : アエテ・イツノ マニカ・ウッ
カリ・オオイニ・カツテ・ズ
ット・チョット・ドウゾ・ム
シロ
- ×—— 副助詞・終助詞 : イ・カ・コソ・サエ・ダワ・
ツケ・ナ・ヨネ・ヨネエ
- ~~~~~ 待遇表現 : オ〜ニナル・オ〜ネガウ・デ
ゴザイ(マシヨウ)・テマイリ
(マシタ)・ナサイ

したがって、例えば「くりかえしているうちに」という用例は、「くりかえし」までが——\——，「くりかえしている」までが——//——，「うちに」が⊗——という印をつけられ、それぞれの印の他のカードとともに集められるというぐあいである。

2. 調査の結果

2-1 用例の数

前節で述べたような手順に従って採取したカードを整理してみると、次のような結果を得ることができる。

まず、前記の各分類基準のもとに集められた語や句の用例の異なり数は、次のようになる。

○文末表現 / 呼応表現	: 126 例
○慣用表現	: 51 例
○句間接統詞	: 21 例
○文間接統詞	: 40 例
○動詞=テ+動詞	: 50 例
○動詞=マス+動詞	: 74 例
○副詞・副詞的成分	: 616 例
○副助詞・終助詞	: 35 例
○待遇表現	: 210 例

2-2 用例の分布

前述の語句は、調査対象となった6種の教科書に平均して分布しているわけではなく、教科書によって分布に偏りがあることが分かる。例えば、副助詞・終助詞の種類は、TK・FSIには非常に少なく、WK・ICJ・ISJは対照的に非常に多い。TKは「か」「やら」などを除いて終助詞がほとんどない。一方、ISJは、WK・ICJに比べても副助詞・終助詞の種類が多く、文中に使用されている頻度も高い。ISJは全体に語彙・文型の種類が多く、前述の用例数のうちかなりの比率をISJで占めている。本論では頁数の余裕がないので、用例の分布については別稿に譲りたい。

3. 用例に見る語彙・文型提出上の問題点

3-1 助詞の問題点

ここから調査対象の教科書の用例から見た、中級レベルの語彙・文型提出上の問題点について、いくつかの項目に限って指摘してみたい。取り扱う項目は、助詞、待遇表現、および筆者が「〈文章型〉の構成要素」と名付けた接続詞や副詞である。ここで取り扱う用例は、すべて本論のあとに挙げておくので参照されたい。

まず、助詞の問題点であるが、初級レベルの教材では扱われることの少ない副助詞の「こそ」と「さえ」を取り上げて論ずることとする。

「こそ」は、調査対象の教科書の用例として12例見出させる。しかし、用例の分布が偏っており、ISJに6例、WKに5例ある他は、TKに1例を数えるのみである。そしてまた、この13例の用法にも偏りが見られる。国語辞書によれば、「こそ」の用法には基本的に次の四つがある。

- ① 取りたて強調：今でこそ言えるが・自分でやってこそはじめて分かる
- ② 十分な理由の提示：君の事を思えばこそこうやって注意しているのだ
- ③ 容認排除：感謝こそすれ、怒ることはなからう
- ④ 否定：押しても引いても動かばこそ・情け容赦も有らばこそ

調査した用例のうち、10例が①の、2例が②の用例である。しかも、②の用法の2例はともにWKの用例である。用法③・④は、文体的・文法的な配慮が必要な用法であり、中級レベルの学習項目としては少し高度に過ぎるかもしれない。しかし、用法①・②は、「こそ」の基本的な用法であるから、初級で未習得のばあいは中級で学習させる必要がある。「こそ」の用例の採取できなかった教科書では、どこかでこの助詞を導入する工夫をしなければならぬであろう。また、ISJ・TKは用法②の用例がないのが惜まれる。既習の文型を組合わせたより複雑な構造の文を理解し、作りだすことが中級の目標であるとするれば、用法②のほうが

その目標に沿った応用練習ができるからである。

「さえ」は、28例あり、5種の教科書すべてに分布している。しかし、やはり用法の分布に偏りが見られる。「さえ」の用法には、次の三つがある。

- ① 例示—“後は推して知るべし”：子供にさえ分かる・名前さえ書けない
- ② 充足の条件：練習しさえすれば上手になるよ・金さえあれば何だってできる
- ③ 添加：雨が降ってきただけではなく、雷さえ鳴りだした

用例中、用法①のものが最も多く19例、続いて用法②が6例、用法③が3例である。用法②の用例はISJに3例、FDIに2例、ICJに1例である。また、用法③はISJに2例、WKに1例である。したがって、用法①～③をすべてカバーしているのはISJだけである。前述の中級レベルの学習の目標から言えば、仮定条件節を構成する「ば」や「たら」とともに使われる用法②がもっといろいろな文脈(例えば「～さえ～たら～のに」のような)に出てきてもよさそうなところである。

以上述べたように、調査の結果によって、中級教科書各種の助詞の扱いには、用例の分布とその各用例が示す用法の分布に偏りがあること、特に中級レベルの読解・作文の練習に応用できそうな用法に対する配慮が欠けていること等が明かとなった。各教科書がその足らざるところを補うには、練習問題集や例文集のような付属教材を開発する必要がある。

3-2 待遇表現の問題点

初級レベルでの導入が不十分なため、中級で更に詳細な解説・練習が必要な学習項目として待遇表現が挙げられる。特に、形態としては謙譲語と同じだが、話し手の行為を表さず丁寧語化して使われる、いわゆる「丁寧語」は、初級で取り上げられることが少ないので、中級の必修項目とすべきである。ここでは、代表的な丁寧語である「もうします」「いたします」

「まいります」「おります」について、調査の結果を見てみよう。これらの丁重表現の典型的な用法の例を次に挙げておく。

○あの山は「帽子山」と申します。

○おかしな匂いがいたします。/これ以上被害が出るといたしますと

…

○ご注文のお食事がまいりました。/夜も更けてまいりました。

○上野動物園にはコアラはおりません。/都市部の人口が増加しております。

調査対象の教科書で丁重表現の用例が見つかるものは、WK・TK・ISJ・FSI の四つである。このうち、TK はその第4課が待遇表現の分類をテーマにしたものであり、丁重語（TK では「丁寧語」）についても包括的に扱われている。他の3種の教科書における用例の分布は次のとおりである。

WK : 「まいります」1例, 「おります」2例

ISJ : 「まいります」2例, 「おります」2例

FSI : 「おります」1例

まず、全体的に用例数が少ないことが分かる。WK の本文はほとんどが引用されたものであるから、適当な丁重表現を含む文章を探し出してくるのは実際には困難かもしれない。一方、ISJ・FSI の本文は書き下ろしであるから、編集者の裁量でもっと多くの丁重語が導入できたはずである。どちらの教科書にしても、丁重語を学習項目として積極的に認識しているという編集方針が見えてこないところに、用例数の多寡以外の問題がありそうである。

待遇表現の用例としては、この他にも「なさっていらっしゃいます」のような二重尊敬語、「申しております」のような二重謙讓語、「おられる」のような特殊な尊敬語の例があるが、用例数が少なく分布が偏っている。特に一課を設けて解説してある TK を除いて考えてみると、丁重語を含む待遇表現の全体が、中級教科書の中に体系的に導入されているとは思え

ない状況である。教科書に登場しない待遇表現は、副教材を用意するなどして別途導入しなければならないであろう。

3-3 「文章型」の構成要素

筆者がここで「文章型」というのは、一定の論理のパターンを示す形式の集合したものである。たとえば、次の文章の下線の部分が一つの「文章型」を構成すると考える。

「喫煙は公害だと思ふ。というのは、周りにたばこを吸っている人がいると、たばこの煙やたばこの匂いを含んだ空気が、好むと好まざるとにかかわらず、自分の鼻や喉に入ってくるからである。そこで、人が多く集まる公共施設には必ず喫煙所を設ける必要があるのではないだろうか。」

これは、〈問題提起の意見→その根拠の提示→問題解決への提案〉という論理を示す「文章型」である。このように「文章型」は、接続詞・副詞・助動詞などが一定の順序で並んでいて、それによって一つの思想で統一された一続きの文章を形作るものである。中・上級の教科書では、このような「文章型」が多く抽出できるような文章が載せられていることが望ましいことは言うまでもないだろう。

調査結果の中から、「文章型」を構成する要素である「もちろん」と「たしかに」の用例を見てみよう。どちらももちろん/たしかに～。しかし/だからといって/ただ～というつながりかたで、〈反対意見の正当性を一応は認めながら、結局はそれに反論する〉という「文章型」を構成するが、このような形式で出てくる「もちろん」と「たしかに」の用例数は各教科書で次のとおりである。その他の「もちろん」と「たしかに」の用例は、副詞本来の意味—すなわち〈当然デアル〉〈間違イナク〉—で使われている。

WK：「もちろん」4例、「たしかに」1例

ICJ：「もちろん」3例

FSI : 「もちろん」1例, 「たしかに」1例

この結果によると, TK と ISJ にはこの「文章型」が出てこないということが分かる。引用文の多い WK にも書き下しの ICJ にも十分な例があるから, TK も ISJ もそのつもりで編集すれば, このような表現の例が収められたはずである。中級段階では, さまざまな論理展開の文章がまんべんなく出てくるように本文を構成しておくことが, 学習者の読解力や作文力を高めるのに役にたつ。この意味で, 「文章型」の類型の研究が今後の中級レベルの日本語教育における重要な課題の一つになるであろう。

4. まとめ

以上, 6種類の中級日本語教科書を対象とした語彙調査の結果をもとに, 中級レベルにおける語彙や文型の問題点を指摘した。紙幅の都合で, 調査全体の結果や本稿で取り上げた以外の問題点について触れることができず, また, 公開講座で取り上げた「のだ」の問題も割愛せざるを得なくなった。これらについては稿を改めたい。

最後に, 調査を通じて感じたことを箇条書きにして, まとめたい。

- 中級レベルでは, 学習者の学習ニーズによって本文で取り上げられる話題が異なっている。例えば, 留学生対象の TK では日本の地理・物理学の解説・科学者の随筆など, いわゆる一般教養的なテーマが多いのに対し, 外交官対象の FSI では日本の政治体制・経済構造についてのテーマが多い。このような話題の相違は, 本文で扱われる語彙や文型の種類に大きく影響している。
- 本文が書き下しものか他の文献からの引用であるかによって, また引用の場合は, 青少年向けの文章から採ったものか一般成人向けの文章から採ったものかによって, 語彙や文型の種類が異なってくる。また, 書き下しものでも引用のものでも, 会話文が入っているかどうかで語彙の構成が相当程度変わってくる。
- 中級教科書は, 本文の話題や引用される文献に偏りが生じるため, 初

級と異なり、教科書のみで中級レベルの学習項目とすべき語彙・文型をすべて提出することは不可能である。教科書の他に例文集・会話表現集・文型練習帳・特定の語彙一覧表などを付属教材として準備し、教科書の進捗とは別の学習プログラムを作っておく必要があるようである。

- 「中級」と考えられているレベルの語彙・文型の種類のバラエティや難易が教科書によって著しく異なっている。学習者のニーズや学習機関の性格に従って、中級という学習段階の内容を更に細かい小段階に分けて分析してみる必要があるようである。

参 考 文 献

- 北条淳子・『日本語中級教材における文型』・1979・『講座日本語教育』第15分冊
- 金 栄振・『日本語助詞・助動詞活用辞典』・1979・学窓社(ソウル)
- 下瀬川慧子・『中級教科書の語彙』・1979・『東海大学紀要』
- 上海交通大学外語教研組・『工程技術日語手冊』・1976・上海
- 筑波大学日本語教育研究室・『日本語表現文型 中級 I, II』・1983・凡人社
- 藩 国男・『日語文型・句型分類解説』・1979・秀英出版

〈用例一覽〉

以下、本論で取り上げた事項に関する用例を挙げて参照の便に供する。用例の示しかたは次のとおりである。

- (1) 教科書の略号は、本論で述べたものと一致する。
- (2) 下線を施した部分が分析の対象である。
- (3) 用例のあとの()内の数字は、その用例の所在を表すものである。
 - ()内の前の数字は頁数、後の数字は行数である。
 - ISJ は2巻からなるので、頁数の前に課数も示した。
 - ISJ の行数の前にある U・K は、それぞれ上段・下段の意味である。

3-1-1 「こそ」の用法 ④ の用例

- WK ○ ふとん乾燥機は、このようなところにこそ、必要なものではないだろうか。(8・18)
 - 「弱ったな。この道こそ、もうだいじょうぶだと思ったのに、こんな行き止まりになってしまつて。」(36・02)
 - それこそ悪魔のモットーなのでございます。(55・10)
- TK ○ この水蒸気こそ、気体の状態になった水なのです。(33・16-34・1)
- ISJ ○ 全体の意志を生かすことのできる人こそ、真の指導者といえるので

はあるまいか。(1・24・8)

- 全体の意志を生かすことのできる人こそ、ほんとうの指導者といえるんじゃないだろうか。(1・24・11)
- いいえ、本当にこちらこそ。(9・114・S6)
- いいえ、こちらこそ。(9・154・16)
- ええ、今年こそはぜひ行ってみたいと思っています。(9・154・18)
- ありがとうございます、あなたこそお元気で。(9・154・20)

3—1-2 「こそ」の用法 ② の用例

- WK ○ 「もちろん、わかっているとも。持ってくるからこそ、魔神としての価値があるのだ。」(53・17)
- 「あの年ごろだからこそ持てる純粋さなのに、そんなひどい怒りようをして...かわいそうだわ...。」(62・1)

3—1-3 「さえ」の用法 ① の用例

- WK ○ なにもかも売っぱらってしまった。とっておきの上着さえ売りはらい、一昨夜の夕食になってしまった。(15・3)
- もうわれわれは、足を床につけてたっていることさえむずかしいのである。(27・8)
- 娘は、しだいに門の外から離れていくのを感じていた。いや、門の外というものが、いったい存在するかどうかささえ疑わしいような気持ちにさえなってきた。(46・4)
- 娘はその空虚さを見つめた。空虚さは、見つめることさえできないのだと、娘は思った。(47・17)
- とにかく、日本人でさえ正しく読むことは手に負えない状態です。(47・11)
- 伊藤博文を“いとうひろぶみ”と読んでさえこういう状態ですから、これを“いとうはくぶん”などと読んでしまうと、もうこれは完全に二人の歴史上の人物と受け取りかねません。(49・1)
- TK ○ そのつくるものとしての人間は、今日では、まことにすばらしいものをつくり出して、とうとう、地球の外に飛び出すようなもの、例えば、人工衛星のようなものさえつくり出してしまった。(91・4)
- ICJ ○ 自分たちの世界以外の者に対しては、敵意に似た冷たささえ持つのである。(404・95)
- 日本では、むしろ反対に増加する傾向さえある。(411・39)
- ISJ ○ このような事は、ローマ字で書く西洋人の場合にはもちろん、同じ漢字を使っている中国人の場合にさえ起こらないことだ。(3・111・U17)
- 新聞を読む暇さえないよ。(3・124・6)
- ええ、死んだ人さえあったそうですからね。(3・124・8)

- ええ、日本人でさえ困ることがありますからね。(3・124・10)
- 休んだ事がないどころか、遅刻した事さえないのだから、みんなが感心したとしても当然だろうに、誰も感心しようとはしない。(8・61・U12)
- どう読むかさえ分からない。(8・66・10)
- どう言うかさえも分からない。(8・66・12)
- 休んだ事がないどころか、遅刻した事さえないのだから...(8・70・2)
- 「コトとも音がしない」は、コトという小さな音さえしないという意味で周囲の静かさを表すのに使う。(9・145・7)

FSI ○ 自衛隊さえ憲法違反だって言う人がいるんですから。(425・14)

3—1-4 「さえ」の用法 ② の用例

ICJ ○ 駅から二時間もあれば十分往復できるようですから。天気さえよかったら行ってみませんか。(419・16)

ISJ ○ 仕事さえちゃんとすればいいんだから、一概にどっちがいいとも悪いとも決められないだろう。(6・263・S10)

○ 仕事さえ早くすればいいんです。(6・293・5)

○ 数さえ正しければいいんです。(6・293・6)

FSI ○ 軍備さえ持たなければ、攻撃されることもないという考えなんですよ。(423・4)

○ 条約を結びさえすればいいという問題じゃないんですから...(426・15)

3—1-5 「さえ」の用法 ③ の用例

WK ○ 娘は、しだいに門の外の子から離れていくのを感じていた。いや、門の外というものが、いったい存在するかどうかさえ疑わしいような気持ちにさえなってきた。(46・5)

ISJ ○ 一方トランジスターラジオが実用化されて以来、ラジオの数もふえ続け、ながら族という人種さえ現われた。(4・163・U6)

○ 中には、ラジオを聞き、テレビを見ながら宿題もするというまるで聖徳太子のような子供さえいるという。(4・163・U8)

3—2-1 「参ります」の丁寧語用法の用例

WK ○ さらにもっとも普通の名前の代表として“じろう”を選び、これが阿部にくみあわさったと仮定したとき、二郎 二郎 次亮 次朗 次郎 治郎という名前がでてまいります。(51・2)

ISJ ○ 学生運動というものが世界的になってまいりました。(2・71・9)

○ 聖徳太子じゃございませんから、一度にいろいろの音を聞いてわかるというわけにはまいりませんものね。(6・302・5)

3—2-2 「おります」の丁寧語用法の用例

WK ○ ことばでないことばの役目を果たしております。(9・4)

- (彼女へ)優しい女性の役を演じるようになっており、いま、そのけいこに余念がない。(71・15)
- ISJ ○ 先程も申しましたように、あちこちの大学で学生運動が起こり、ほとんど授業が出来ないような状態になっております。(7・36・10)
- それはもう、とても便利に出来ております。(9・125・2)
- FSI ○ 今度の不況は予想以上に長引いており、業界によっては、減産に踏み切った所もあるようです。(441・14)
- 3—3-1 「文章型」の「もちろん」の用例
 - WK ○ もちろん、現在の正式の国旗は、丸の四角に一定の大きさのプロポーションを定めている。しかし、それは決して絶対的なものではなく、要するに、あの赤い丸がいかに鮮明に見えるかという工夫にすぎない。(58・6)
 - もちろん、木偏に「黄」は、樹木の名を示す漢字ではない。それは、横浜の「横」という字である。しかし、前に木偏の漢字をいくつか並べておいて、樹木の名ばかり考えさせておくと、相手をうまく落とすことが案外にやさしい。(63・17)
 - もちろん、いつかは独立して一人前になることがのぞまれているが、その時が来るまでは、子どもとしての制限の中に暮らさなければならぬ。(77・07)
 - もちろん、きびしく叱られたり罰せられたりする。そのきびしさは、今日の日本の家庭のそれよりも、よほどきびしい。しかし、ルールに触れない限りではほとんど干渉されないし、むしろ、日本の子供にくらべてずっと自由なところがある。(78・05)
 - ICJ ○ 例をヨーロッパにとってみても、世界史的な視野からその歴史の全体像を観ることも勿論可能だが、いずれかの民族に属する人々にとっては、それ以上に、自分たちの民族の興亡の歴史として興味がそられるのではないだろうか。(408・24)
 - もちろん一般民衆が忠実にこの戒めを守ったとは考えがたいが、少なくとも肉食の習慣を精神的に圧迫することになった事実は否定できない。(413・32)
 - もちろん、世界中どここの国でも農村から都市への人口流入はある。(中略)ただ日本と違うのは、欧米の場合、機械化が進んだため失業した人などが一家を挙げて移住することが多いということである。(413・08)
 - FSI ○ もちろん現状維持だけではいけないと思いますよ。しかし、これは世界共通の減少のようです。(413・9)
- 3—3-2 「文章型」の「たしかに」の用例
 - WK ○ 日本には世界じゅうの味が集まっているのではないかという反論は

当然あるだろう。しかし、のちほど別の章で述べるように、たしかに料理の種類は多い。しかし、味のほうは日本人向きという、単一化したものに変化してしまっているのである。(89・11)

FSI ○ たしかにそれが理想的ですが、実際には、大部分が財界や労働組合から出ていますね。(411・22)